

基準5. 経営・管理と財務

領域

経営の規律、理事会、管理運営、財務基盤と収支、会計

趣旨

法人全体の中長期的な計画の策定及び執行

理事会の機能

管理運営の円滑化と相互チェック機能

計画に基づく財務基盤の確立

適切な会計処理

評価の視点	評価の視点に関わる自己判定の留意点☑
①経営の規律と誠実性の維持	<input type="checkbox"/> 組織倫理に関する規則に基づき、適切な運営を行っているか。 <input type="checkbox"/> 情報の公表を、法令等に基づき適切に行っているか。
②使命・目的の実現への継続的努力	<input type="checkbox"/> 使命・目的を実現するために継続的な努力をしているか。
③環境保全、人権、安全への配慮	<input type="checkbox"/> 環境や人権について配慮しているか。 <input type="checkbox"/> 学内外に対する危機管理の体制を整備し、かつ適切に機能しているか。

エビデンスの例示

- ・経営の基本方針として経営の規律と誠実性の維持を表明した資料、組織の倫理・規律に関する綱領・規則など
- ・環境保全、人権、安全に関する方針、計画、具体的措置を示す資料

評価の視点	評価の視点に関わる自己判定の留意点☑
①使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制の整備とその機能性	<input type="checkbox"/> 使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制を整備し、適切に機能しているか。 <input type="checkbox"/> 理事の選任及び事業計画の確実な執行など、理事会の運営は適切に行われているか。
基準項目全体に関わる自己判定の留意点☑	
<input type="checkbox"/> 理事の出席状況及び欠席時の委任状は適切か。	

エビデンスの例示

- ・機動的意思決定のための仕組み(常務理事会、政策調整機関など)を示す組織図・資料
- ・理事会機能の補佐体制を示す資料
- ・理事会権限委任、理事の職務分担などを示す資料

5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック

評価の視点	評価の視点に関わる自己判定の留意点☑
①法人及び大学の各管理運営機関の意思決定の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 意思決定において、法人及び大学の各管理運営機関の意思疎通と連携を適切に行っているか。 <input type="checkbox"/> 理事長がリーダーシップを発揮できる内部統制環境を整備しているか。 <input type="checkbox"/> 教職員の提案などをくみ上げる仕組みを整備しているか。
②法人及び大学の各管理運営機関の相互チェックの機能性	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 法人及び大学の各管理運営機関が相互チェックする体制を整備し、適切に機能しているか。 <input type="checkbox"/> 監事の選任を適切に行っているか。 <input type="checkbox"/> 監事の理事会及び評議員会などへの出席状況は適切か。 <input type="checkbox"/> 監事は、監事の職務を適切に行っているか。 <input type="checkbox"/> 評議員の選任を適切に行っているか。 <input type="checkbox"/> 評議員会の運営を適切に行っているか。 <input type="checkbox"/> 評議員の評議員会への出席状況は適切か。

エビデンスの例示

寄附行為などの規則、各種会議体の議事録など

- ・管理部門と教学部門との意思疎通と連携を保つための仕組みとその実効性を示す資料
- ・教職員からの情報や提案が活かされる仕組み及びその実施状況を示す資料
- ・法人の業務、財産及び役員の業務執行の状況などに対する監事の意見などを示す資料
- ・監事の選任状況及び職務執行の状況を示す資料
- ・監事の職務執行の支援状況を示す資料
- ・評議員会への諮問状況を示す資料

理事会、評議員会の議事録など

評価の視点	評価の視点に関わる自己判定の留意点☑
①中長期的な計画に基づく適切な財務運営の確立	<input type="checkbox"/> 中長期的な計画及びその裏付けとなる財務計画に基づく財務運営を行っているか。
②安定した財務基盤の確立と収支バランスの確保	<input type="checkbox"/> 安定した財務基盤を確立しているか。 <input type="checkbox"/> 使命・目的及び教育目的の達成のため、収入と支出のバランスを保っているか。 <input type="checkbox"/> 使命・目的及び教育目的の達成のため、外部資金の導入の努力を行っているか。

エビデンスの例示

- ・事業計画、予算編成方針及び財務指標などを示す資料
- ・中長期的な計画及びその裏付けとなる財務計画を示す資料
- ・事業活動収支計算書関係比率(法人全体及び大学単独)、貸借対照表関係比率(法人全体)、活動区分資金収支計算書関係比率(法人全体) エビデンス集(データ編)5-2~5-4
- ・文部科学省に提出した計算書のコピー(過去5年間)又は計算書及び独立監査人の監査報告書(過去5年間)
- ・予算書、財産目録など(最新のもの)
- ・金融資産の運用状況(過去5年間) エビデンス集(データ編)5-5
- ・資産運用に関する規則

評価の視点	評価の視点に関わる自己判定の留意点☑
①会計処理の適正な実施	☐ 学校法人会計基準や経理に関する規則などに基づく会計処理を適正に実施しているか。
②会計監査の体制整備と厳正な実施	☐ 会計監査などを行う体制を整備し、厳正に実施しているか。
基準項目全体に関わる自己判定の留意点☑	
☐ 予算と著しくかい離がある決算額の科目について、補正予算を編成しているか。	

エビデンスの例示

- ・経理に関する規則
- ・監事の監査報告書、理事会議事録(評議員会を含む)